

## 平成20年度 公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況等

### 1 概要

平成20年度の公立小・中学校、高等学校、特別支援学校におけるいじめの認知件数は362件で、平成19年度と比較すると184件減少している。校種別では、小学校126件、中学校186件、高等学校48件、特別支援学校2件となっている。

### 2 学年別認知件数

学年別では、中学1年生が101件で最も認知件数が多く、次いで中学2年生61件、小学6年生37件、小学5年生35件、小学4年生31件の順となっている。

### 3 いじめの解消状況

全体では、327件(90.3%)が解消している。校種別では、小学校120件(95.2%)、中学校164件(88.2%)、高等学校41件(85.4%)、特別支援学校2件(100%)の解消状況となっている。

### 4 いじめ発見のきっかけ

最も多い発見のきっかけは、小中学校ともに「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」(小学校37件、中学校65件)となっている。高等学校では「本人からの訴え」(24件)、特別支援学校では「学級担任以外の教職員が発見」「本人からの訴え」(各1件)となっている。

### 5 いじめの態様(複数回答)

小中学校、高等学校では「冷やかしかやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、全体の37.9%を占めている。次いで、小学校は「仲間はずれ、集団による無視をされる」、中学校は「パソコンや携帯電話等で誹謗中傷やいやなことをされる」、高等学校は「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」となっている。

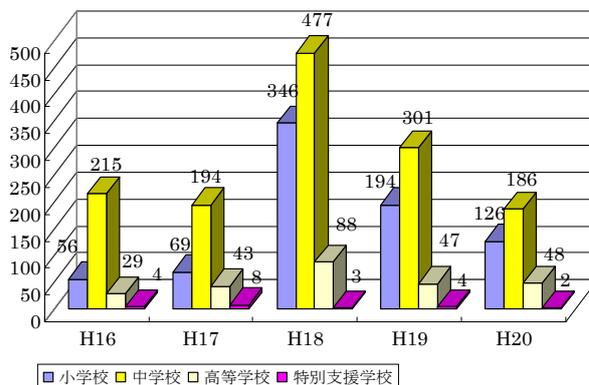
### 6 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組(複数回答)

「職員会議等を通じて共通理解を図った」が最も多く、次いで「道徳等ではいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った」、「児童・生徒会活動等を通じていじめの問題を考えさせたり、人間関係づくりを促進した」、「いじめ問題に対応するため、教育相談体制の充実を図った」の順となっている。

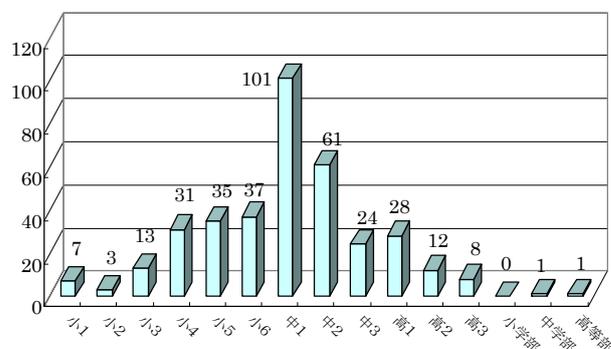
### 7 いじめの実態把握のための学校の具体的な方法(複数回答)

小学校では、「家庭訪問」が最も多く、中学校では「教職員と生徒との間で日常的に行われている日記等」、高等学校では、「個別面談」が最も多くなっている。

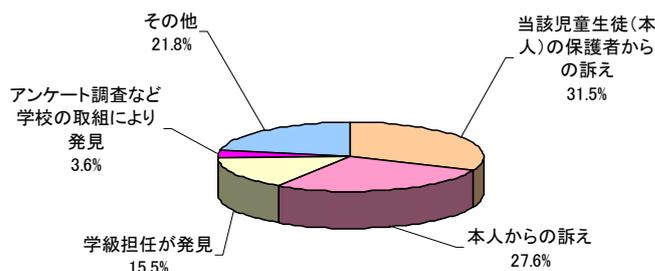
いじめ推移



学年別認知件数



いじめ発見のきっかけ(全校種)



## 平成20年度 公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況等(データ)

## 1 いじめの認知学校数・認知件数等の推移

区分	公立学校 総数:A (校)	認知学校 数:B(校)	認知率: B/A×100 (%)	認知件数:C (件)	認知件数の 増▲減率 (%)	1校あたりの認 知件数:C/A (件)	
小学校	平成11年度	454	62	13.7	130	▲ 20.2	0.3
	平成12年度	453	59	13.0	126	▲ 3.1	0.3
	平成13年度	452	42	9.3	80	▲ 36.5	0.2
	平成14年度	452	46	10.2	86	7.5	0.2
	平成15年度	447	65	14.5	74	▲ 14.0	0.2
	平成16年度	440	38	8.6	56	▲ 24.3	0.1
	平成17年度	438	37	8.4	69	23.2	0.2
	平成18年度	437	154	35.2	346	401.4	0.8
	平成19年度	434	106	24.4	194	▲ 43.9	0.4
	平成20年度	429	77	17.9	126	▲ 35.1	0.3
中学校	平成11年度	179	84	46.9	458	20.8	2.6
	平成12年度	180	85	47.2	472	3.1	2.6
	平成13年度	180	81	45.0	374	▲ 20.8	2.1
	平成14年度	180	76	42.2	299	▲ 20.1	1.7
	平成15年度	180	62	34.4	245	▲ 18.1	1.4
	平成16年度	180	60	33.3	215	▲ 12.2	1.2
	平成17年度	177	59	33.3	194	▲ 9.8	1.1
	平成18年度	176	113	64.2	477	145.9	2.7
	平成19年度	176	88	50.0	301	▲ 36.9	1.7
	平成20年度	176	83	47.2	186	▲ 38.2	1.1
高等学校	平成11年度	65	35	53.8	73	▲ 6.4	1.1
	平成12年度	65	30	46.2	89	21.9	1.4
	平成13年度	65	24	36.9	58	▲ 34.8	0.9
	平成14年度	65	22	33.8	50	▲ 13.8	0.8
	平成15年度	64	13	20.3	67	34.0	1.0
	平成16年度	67	15	22.4	29	▲ 56.7	0.4
	平成17年度	68	21	30.9	43	48.3	0.6
	平成18年度	65	37	56.9	88	104.7	1.4
	平成19年度	64	29	45.3	47	▲ 46.6	0.7
	平成20年度	73	24	32.9	48	2.1	0.7
特別支援 学校	平成11年度	14	4	28.6	13	85.7	0.9
	平成12年度	14	2	14.3	6	▲ 53.8	0.4
	平成13年度	14	3	21.4	5	▲ 16.7	0.4
	平成14年度	14	2	14.3	2	▲ 60.0	0.1
	平成15年度	14	2	14.3	4	100.0	0.3
	平成16年度	14	2	14.3	4	0.0	0.3
	平成17年度	14	2	14.3	8	100.0	0.6
	平成18年度	14	2	14.3	3	▲ 62.5	0.2
	平成19年度	14	2	14.3	4	33.3	0.3
	平成20年度	14	2	14.3	2	▲ 50.0	0.1
合 計	平成11年度	712	185	26.0	674	7.5	0.9
	平成12年度	712	176	24.7	693	2.8	1.0
	平成13年度	711	150	21.1	517	▲ 25.4	0.7
	平成14年度	711	146	20.5	437	▲ 15.5	0.6
	平成15年度	705	142	20.1	390	▲ 10.8	0.6
	平成16年度	701	115	16.4	304	▲ 22.1	0.4
	平成17年度	697	119	17.1	314	3.3	0.5
	平成18年度	687	306	44.5	914	191.1	1.3
	平成19年度	688	225	32.7	546	▲ 40.3	0.8
	平成20年度	683	186	27.2	362	▲ 33.7	0.5

※平成18年度よりいじめの定義が変更されているため、それ以前とは単純な比較はできない。